

広報 ちよにてい

No.3

Autumn & winter
2021



公民館が変わる
公民館からコミュニティセンターへ

はじめに

現在、白山市では「市民協働で創るまちづくり」が進められています。このポイントは、市内全28地区において地域コミュニティ組織を設立すること、及び、その活動拠点として公民館を発展させ、機能を拡充したコミュニティセンターにするということです。

公民館がコミュニティセンターになるのは令和6年4月からの予定であり、それまでの間、各地区で順次、地域コミュニティ組織を設立し、活動を行うモデル事業を進めることになっています。千代野地区は、令和2年度にモデル地区になり、地域コミュニティ組織（千代野まちづくりネット）を設立し、活動を始めています。

市民協働で創るまちづくりあり方方針（令和3年4月）

令和3年4月に白山市において「白山市市民協働で創るまちづくりあり方方針」が策定され、9月議会で公民館のコミュニティセンター化のスケジュールが示されました。

地域コミュニティ組織

■必要性

人口減少や少子・高齢化による活動の担い手不足など、地域を取り巻く環境の変化とともに多様化・複雑化していく地域課題に対応するため、地域住民や各種団体などが話し合っ、「地域でできることは、地域で知恵や発想を出し合い取り組む」仕組みが必要です。そのために話し合い、実行していく組織として地域コミュニティ組織を設立する必要があります。

■役割

地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、実行することを基本とし、加えて「防災防犯」「健康福祉」「生涯学習」「環境美化」が重要な役割です。

■機能

- (ア) 地域のさまざまな情報を集め、地域全体に発信する。
- (イ) 地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い実行する。
- (ウ) 行政や各種団体等との連携を強化し、組織の内部と外部をつなぐ。
- (エ) 地域全体を束ねることで持続的に活動し地域づくりを行っていく。

公民館のコミュニティセンター化

公民館は現在、社会教育法に基づき「生涯学習の拠点」となっていますが、今後は生涯学習に加えて「地域づくりの拠点」として位置付け、地域振興やさまざまな課題解決などの拠点とするために公民館のコミュニティセンター化に向けて、協議を進めていきます。

生涯学習の拠点(社会教育法の制約あり)



生涯学習＋地域づくりの拠点

(仮称) 地域コーディネーター

コミュニティセンターの管理業務を行うとともに、地域住民と協力しながら地域コミュニティ組織の運営や地域づくり活動を調整し、まとめ役を果たすために「(仮称)地域コーディネーター」を配置します。

※ 現在の公民館職員が(仮称)地域コーディネーターになると考えられます。

市民協働で創るまちづくりのポイント

①地域コミュニティ組織(令和5年度中に設立)

地域コミュニティ組織とは、地域住民や町内会、各種団体、学校など地域の多様な主体が連携し、地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、地域の特徴に合わせて実行する組織です。

- ◆地域の特徴や目指したい姿について話し合おう
- ◆地域の困りごと、課題を共有しよう
- ◆地域の未来や課題を自分事として考えよう



話し合う



実行する

例えば

- ◆防災訓練や通学路の見守り
- ◆世代間交流、伝統文化の継承
- ◆子育てサークル、高齢者の見守り
- ◆公園の除草、リサイクル

など

②公民館のコミュニティセンター化(令和6年4月に移行)

これまでの生涯学習活動に加え、地域振興や地域課題の解決などのまちづくりの拠点となるよう公民館を発展させ、機能を拡充したコミュニティセンターにすることで、地域住民の参画・主体となる地域づくりを推進するものです。

現在

【公民館】

●生涯学習活動

世代間交流、教養、趣味等の各種講座など



●管理業務

施設の維持・管理、貸館など



公民館



移行

令和6年4月

【地域コミュニティ組織】

●地域づくり活動・生涯学習活動

各種団体や若者、女性等の多様な主体が連携して地域課題等について話し合い、実行する地域づくり活動と、公民館がこれまで行ってきた生涯学習活動が一緒になって、より幅広い活動を行います。

各種団体が協力し
地域振興や
課題解決に
取り組みます

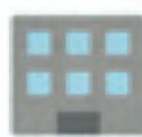


【コミュニティセンター】

●管理業務

地域コミュニティ組織の活動拠点施設として、施設の維持・管理や貸館を行います。

これまでの生涯学習の場に加え、新たなニーズに対応した、住民にとってより使いやすい活動拠点となります。



コミュニティセンター

公民館は、新しい
地域づくりの拠点
施設としてコミュ
ニティセンターに
変わります!!

他のモデル地区の状況

7月4日及び11月21日に地域コミュニティ組織モデル地区意見交換会があり、各地区の状況や課題について協議されました。

モデル地区

モデル事業開始年度	地区名
令和2年度	石川、白峰、舘畑、蝶屋、千代野、山島
令和3年度	蔵山、中奥、林中、美川

各地区の状況（令和2年度モデル事業開始地区）

★石川地区

- ①組織名称 イシカワ・コミュニティ・クラブ（石川地区まちづくり協議会）
- ②設立時期 令和3年7月
- ③実行体制 プロジェクト制（広報、企画、つながり農園、石川まち歩き）

★白峰地区

- ①組織名称 NPO法人 白峰まちづくり協議会
- ②設立時期 令和3年10月
- ③実行体制 既存NPOの「ふれあいづくり」「やすらぎづくり」「にぎわいづくり」の3委員会を一本化してコミュニティ組織が担う。

★舘畑地区

- ①組織名称 舘畑地区地域コミュニティ組織設立準備会
- ②設立時期 設立準備会の段階

★蝶屋地区

- ①組織名称 蝶屋まちづくり協議会
- ②設立時期 令和3年7月
- ③実行体制 部会制（防災防犯、健康・福祉地域交流、教養・文化スポーツ振興、環境美化）

★山島地区

- ①山島地区コミュニティ協議会
- ②設立時期 令和3年3月
- ③実行体制 部会制（防災防犯、健康福祉、生涯学習、環境美化）

各地区で共通する課題等

- ・コロナ禍で大勢が集まる活動や飲食を伴う行事ができない。
- ・地区内で組織や活動内容が認知されていない。
- ・若い世代や女性の参画が難しい。
- ・まちづくりに関心の無い住民が多い。
- ・人材の発掘（事務局作業、広報作成など）
- ・すでに実施している活動との棲み分け、連携



モデル地区意見交換会 11月21日

千代野まちづくりネットの活動 -令和3年度-

月日	活動・事業	内容等
4/18	第1回運営会議	令和3年度総会・組織名称
4/24	令和3年度総会	令和2年度実績・決算、令和3年度計画・予算・役員改選・規約改正（組織名称）等
5/16～ 6/13	石川緊急事態宣言 まん延防止等重点措置適用	
5/18	アンケート集計・分析依頼	2名（1名辞退）
5/20	アンケート単純集計結果送付	運営会議メンバーへの検討依頼
5/29	第2回運営会議	プロジェクト説明会延期・アンケート分析
6/20	第3回運営会議	第1回役員会について
6/26	第1回役員会	アンケート結果・プロジェクト説明会・広報第2号
7/4	モデル地区意見交換会	R2採択5地区、R3採択2地区参加
7/10	プロジェクトチーム説明会	まちづくりネット・プロジェクト・参加届
8/2～ 9/30	まん延防止等重点措置適用	
8/12	広報第2号配布	アンケート結果概要
8/23	プロジェクトチーム発足	プロジェクト編成・個別検討依頼
9/14	白山市協働推進課及び金沢大学との協議	プロジェクトAERU（アエル）との連携を検討
9/25	プロジェクトチーム全体会議	個別検討結果について
10/19	第4回運営会議	第2回役員会及び事業検討プロジェクト
10/24	第2回事業検討プロジェクト	三人行事について
11/4	第3回事業検討プロジェクト	三人行事、特に盆踊りについて
11/13	第5回運営会議	第2回役員会について
11/16	第2回役員会	各団体からの協議事項、報告事項 プロジェクト中間報告など
11/21	モデル地区意見交換会	R2採択5地区、R3採択1地区参加
11/27	まちづくりワークショップ	モデル地区取組報告、ミニ講演、ワークショップ
12/5	第4回事業検討プロジェクト 第2回人材発掘プロジェクト	新規事業案等について

新型コロナウイルス関係

白山市関係



広報 ちよにてい



まちづくりワークショップ 11月27日

各プロジェクトの状況

●広報プロジェクト

プロジェクトチーム発足前から事務局により継続して下記事業を実施しています。

- ①広報ちよにてい発行
- ②ホームページの運用
- ③「公民館だより」への千代野まちづくりネットの概況報告
記事作成

④プロジェクト会議

第1回 9月25日

第2回 12月5日



(順不同)

No	氏名	フリガナ	住所	備考
1	宮本 伸一	ミヤモト シンイチ	南2	リーダー
2	森 久樹	モリ ヒサキ	西8	
3	南 也司志	ミナミ ヤスシ	南2	

●人材発掘プロジェクト

- ①住民アンケート結果の分析、報告書作成（チーム発足前に実施）
- ②個別検討の実施
- ③プロジェクトメンバーによるアンケートに基づく意見交換実施
- ④プロジェクト会議

第1回 9月25日

第2回 12月5日

⑤人材発掘のためのイベント案について検討中



(順不同)

No	氏名	フリガナ	住所	備考
1	加藤 俊光	カウト シミツ	東3	リーダー
2	松本 秋広	マツモト アキヒロ	南1	
3	森 久樹	モリ ヒサキ	西8	
4	木本 幸子	キモト サチコ	東3	
5	板谷 由香	イタヤ ユカ	東1	
6	田賀 真理子	タガ マリコ	西2	
7	宮本 伸一	ミヤモト シンイチ	南2	
8	土井 綾香	ドイ アカ	東4	

●事業検討プロジェクト

①プロジェクト会議

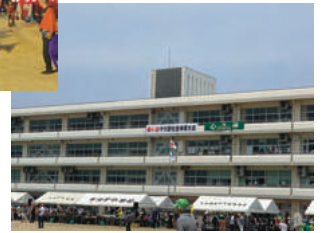
- 第1回 9月25日
- 第2回 10月24日
- 第3回 11月4日
- 第4回 12月5日



盆踊り



千代野まつり



社会体育大会

②実施内容

- ・個別検討の実施及び意見交換
- ・地域行事の棚卸し
- ・地域行事の見直しについて検討中

(順不同)

No	氏名	フリガナ	住所	備考
1	北出 達也	キタデ タツヤ	西3	リーダー
2	村上 昇吉	ムラカミ ショウキチ	南1	
3	松本 秋広	マツモト アキヒロ	南1	
4	新橋 勝年	シンバシ マサトシ	東5	
5	森 久樹	モリ ヒサキ	西8	
6	成 正外志	ナリ マサトシ	南1	
7	田賀 真理子	タガ マリコ	西2	
8	進士 富美枝	シンジ トミエ	東4	
9	出口 美枝子	デグチ ミエコ	西2	
10	濱井 富枝	ハマイトミエ	西6	
11	米沢 修治	ヨネザワ シュウジ	西8	
12	中川 貴大	ナカガワ タカヒロ	東3	
13	山岸 誠	ヤマギシ マコト	南1	
14	宮本 伸一	ミヤモト シンイチ	南2	
15	土井 綾香	ドイ アカ	東4	



プロジェクト会議 9月25日

自己責任とお互い様

民生委員児童委員

三国外喜男

人生は選択の連続であり、その中で私たちは生まれてから今まで生活をしてきました。その選択肢を選ぶことは「自己責任」の一つですが、他人の自己責任を皆さんはどのように見えますか。

人間は原始時代から群れの中で生活をしています。今でも、家族、近所、地域、国とそれぞれの群れの大きさがあるにしろ、一人で生きているわけではありません。お互い様の考え方は、健康保険や介護保険の保険料や税を納めることが、正にお互い様で成り立っている物としての代表と言えます。物以外のメンタルな部分でのお互い様はどうでしょうか。病気や経済不安も自己責任と言えるかもしれませんが、自分に少し時間があるのであれば「最近どう？」と他人と関わり合うことも大切なような気がします。他人の生活に干渉するわけではありませんが、少し手を差し伸べることが、地域の潤滑油のような気がします。

「自己責任」を選択するのか、互いに「頼み上手・頼まれ上手」になって行くまちづくりを選択するのか、これがこれからの千代野まちづくりの第一歩ではないでしょうか。

会員を募集します

千代野体育協会

体育協会の会員は現在63名で活動しています。しかし常任理事は27名で10年前と変わらず、ほぼ同じ顔ぶれで主に千代野に移住した初代の有志（50～70歳代）の方々が中心となりこれまではゆるぎなく着々と成長してきた我が協会ですが、これで安泰かといえれば必ずしもそうではない現状です。



これからの協会事業とは地域住民にとってはお互い気持ちよく活動できる場であり、我々にとっては小さなお子様から高齢の方々までが満足を得ることのできるものでなければなりません。しかしもって現在は協会員の高齢化が進み我々が乗り越えていかなければならない壁はあまりにも厚く、かつ高い課題であります。

今後の運営活動に協力していただける方で在住二世世代目の方々や移住者の方で30～40歳代が世代に合った運営に携わっていただける新規会員を募集します。

再び初心に帰り、協会員とともに理解し合い、協会一丸となり努力を重ねたいと思います。

<連絡先> 千代野公民館 TEL (076)276-2204

Email chiyonokou@yahoo.co.jp

広報ちよにてい No.3 Autumn & winter 2021
編集

千代野まちづくりネット

〒924-0072

白山市千代野西8丁目30番地

白山市立千代野公民館内

TEL (076)276-2204

FAX (076) 274-7866

ホームページ

chiyonity.com

